

7月17日(水) 本年度第3回(通算2689回)

『前年度優良出席会員表彰』

／担当/出席委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

■ **出席報告**【会員総数64名 免除7名 出席計算に用いた会員数64名】
出席者 35名 本日の出席率 55%

■ ニコニコ 献金

- ・前年度優良出席の方、大変お疲れ様でした。今年もよろしくお祈りします ～小野寺 英夫君
- ・本日もよろしくお祈りします ～佐渡 正幸君
- ・ありがたく表彰をお受けします ～中嶋 嘉昭君
- ・生まれ変わって頑張ります ～毛利 勇二君
- ・今年も100%目指します ～石井 東洋彦君
- ・母校の帯広三条高校、甲子園まであと2勝 ～伊賀 敬司君
- ・長い間欠席していてすみません。これからも多々あると思いますが ～松田 信明君
- ・優良出席ありがとうございます ～北川 健二君
- ・次週のそば楽しみにして下さい ～横田 國勝君
- ・29年目となりました。まだまだ頑張ります ～田村 憲一郎君

■ 会長挨拶 《小野寺会長》



みなさんこんにちは。菊池会員の厳島神社例大祭も無事終わり、涼しい釧路の夏の到来です。

今年は涼しい釧路へのツアーが大変人気になっているとの事で関係者の方々の苦勞が実を結びつつあるようです。

昨日、浜中クラブに行きまして表敬訪問が全部終わり一息ついたところです。浜中クラブではスピーチをするよういわれると聞いておりましたので準備をしていくのに、3年前の深川パストガバナーの講演を参考にさせてもらった中で、『ロータリーは倫理運動でありその職業倫理を高める手段が例会に出席して色々な発想や知恵を交換する事である』との一文がありました。例会に出席していろいろな事に触れてください、そして職業倫理を高めてください、それが職業奉仕につながる、という事だと思います。

浜中クラブは13人のクラブでしたが、会員相互の交流のある例会をしておりそういう意味ではロータリーの本分はしっかりと守られていると感じました。ふと音別クラブの会員は少ないが弱小クラブではない。という言葉の思い出しました。

改めて、例会に出席し例会の時間を有意義に過ごすことの大切さを会員の皆様と共に考えてみたいと思いました。

■ 幹事報告 《佐渡幹事》



- ・中標津 RC から活動計画書及び7月の例会プログラムが届いております。
- ・釧路 RAC から、河川敷清掃の案内が着ております。出席希望者名簿を回覧します。
本年度の重点目標にも掲げております、RAC への活動支援事業の一環でもありますので、時間の都合のつく方は、ぜひご参加ください。
- ・新モンゴル高校交流訪問事業の日程が、9月13（金）から16日（月）に決定いたしました。国際奉仕の輪を拡げる意味でも、多くの会員の皆様と参加したいと思っておりますので、参加希望者は幹事までご連絡ください。
- ・出席率の算出に関する規定が変更になっております。

前年度優良出席会員表彰



平井昌弘君
(1年)

前年度優良出席会員表彰を頂きありがとうございます。
私は21年度入会しまして、丸4年経ちましたが正直今まで不良会員でした。そんな腐ってた僕に、お声かけて頂いた、高橋直前会長小林直前幹事には本当に感謝しております。以外に司会はかまわずに出来たかなと思っていましたが、突発的な部分やアドリブなどはまだまだ未熟であったと痛感しております。例会出席が義務的ではなく、率先して例会に行きたくなりました。1年間通して、例会の粗方の流れだったり、専門用語的な事も正直この1年間で覚える事が出来ました。特に『スポーツによる地域振興・くしろ地域の活性化に向けて』の例会では小倉さんはじめ、香田監督などお会いでき、非常に貴重な体験もさせていただきましたし、何よりも、たくさんの先輩方とお話する機会が増えた事です。

今年度は新世代委員長として、また新たな発見も出来るでしょうし、担当例会も、盛りだくさんなので、今年1年が楽しみです。ただ今38歳！！僕よりも若い方が増えて来たので、見本となるよう努力し来年もまた、表彰されるように頑張ります。



本間明美君
(4年)

私は、平成20年8月に入会させていただきました。毎回、例会で色々な方々のお話を聞くことが出来て、発見の連続の日々を送らせていただいております。入会して間もない頃は、何も解らず、只、座ってご飯を食べているだけで何が理解出来て無いかすら、疑問も感じず、毎回、緊張しながら出席しておりました。例会での、会長挨拶や幹事報告で時々出てくるロータリー用語などの意味は、さっぱり分からず、それらの意味を理解するためには、何を見て調べれば良いかすらも、解りませんでした。ですから、いまでも、そうですが、失敗の連続で、落ち込んだ時もあり例会に行くのが、嫌になった時もありました。幸い、周りの方々に励まして頂き連続して、出席優良会員の表彰を、いただいております。

それでも、時には、落ち込んだ気持ちを、私の家の隣に住んでいるパスト会長にぶつけると、優しい言葉の一つも掛けてくれるかなあーとおもっておりましたら、「例会を楽しくするのは、プログラム委員会でも他の委員会でもない。自分自身で見つけるものだ。自分が例会の中で楽しみを見つけ出さないと、誰かが楽しくしてくれる訳では無い。ロータリーって、そうゆう所なんだ！」と言われ、自ら動き学ぶことを教えられました。しかし、そう言われても、素直に、聞けない私は、「手続き要覧とかの言葉は難しくて理解できな

い」と言うと、パスト会長は「ネットとかあるべや、ボタンを押せば、答えが色々出てくるんだべ。俺は出来ないけど」と言われました。心の中で、また、パソコンの事をわからないで、簡単にできると思っているよ。と思いましたが、仕方なくパソコンで色々検索し始めました。すると、色々な地区の研修委員会やロータリージャパンなどに、ロータリーの用語を解りやすく、説明してあるページが沢山見つけました。

最後になりましたが、これからも、せっかく釧路北ロータリークラブに入会させていただいた、ご縁を大切に、1回1回の例会とひとつひとつの行事を楽しみながら、出席できるよう、頑張ってお参りますので、これからも、どうぞ、暖かいご指導を宜しくお願い致します。ありがとうございました。



坂入信行君
(8年)

早いもので入会させて頂いて、12年の歳月を送らせて頂きました、さかいらいです！当時は、90若干名の会員数で右手に執行部のひな壇があり、8名がけ10テーブル、2マスで会場は構成されおり、現在の親睦家族委員会は当時は親睦活動委員会と呼ばれ、各テーブルに一人張り付き、最後のデザートテーブルの一人、お一人に取り分けした事や、ここにこの受付で一言とお金を受け取り、名前がわからず手帳を見て、顔を上げると去って行く、後ろ姿、これが全員同じ後ろ姿に見えて、てんやわんやした事が今でも思い出されます。

入会当初、驚いたのは出席の規定がとても厳しくて、スポンサーになって頂いた方にご迷惑が掛からないように、ひたすらその思いで最初の1年間は無理にでも出席しましたが、そのおかげでクラブの皆様との親睦が深まり、徐々に出席する事の楽しさを知りました。今は無理に出るのではなく、クラブ参加に対して自然体で構えられるようになり、自身が例会に参加出席する事を楽しめるようになり、こんにちの累積に結びついたと思います。これは、少しずつ、一人ずつ、知り合いが仲間が増えたからだと思います。

しかし、あくまでも仕事ありきのクラブ参加です。年度、年度の自分の行動の優先順位をどこに置くかで変わっていく事は事実ですが、やはり、1年、1年一人でも多くの仲間作り、運営参加と親睦の深さで絆とつながりが出来れば決して自分に無理する事なく自然体でクラブ運営に接するようになると思いますので、今年度も優先順位を変える事なく、自分らしくクラブ運営に参加していきたいと思っておりますので、今後ともご指導のほど宜しくお願い致します。

最後に優良出席者から出席と年会費の納入が会員の最低義務と称されているRCですので早め上期の会費の入金を告げるように執行部におおせつかりましたので一言、添えて私の発表とさせて頂きませう。



中嶋嘉昭君
(15年)

出席優良会員として、累積15年の節目の年なので、地区表彰を受けることとなりました、感謝を申し上げます。

ロータリークラブ在籍28年間での15回目ですから、何か微妙なところですか。1996～97年坂本一PDG年度までの11年間は、目立たぬように、忘れられないように静かなクラブ活動でありました、その前年に急に揺り起こされて、引き込まれてそのまま今の状況ですから、後半の17年間の中での達成ですので、ここも微妙な気持ちですが、少しはクラブの役に立っているのかなと思います。その年から毎年、色々なポジションを与えられ、否応なく例会出席や事業の参画が求められ、当たり前的事として活動させられております。

その様なことから、ロータリーの活動は沢山の会員（出来れば全員）が役職について、例年ポジションを変えて多くの経験を積むことで、新しい着目で活気が出てくる可能性も期待されます。ロータリーな活動を会員全員で…



千田 清君
(20年)

優良出席会員表彰を頂きありがとうございます。
昭和60年の入会以来、こうしてロータリー活動が出来るのは、会社の社員のみなさんの理解、そして、何より家族の理解や協力がなければ、到底出来なかったと思っております。
20年間の100%例会出席には色々な事がありましたが、周りの皆様のご協力をいただきながら、続けられました。
これからも、健康に留意しながら、例会に出席して参りたいと思っております。ありがとうございました。



松原久幸君
(25年)

25年連続出席優良会員として表彰された。然ここれは当たり前のことをした迄で、特別な感情はない。ロータリアンの第一の義務は例会出席である。ロータリー運動が職業奉仕団体として出発し、会員が例会に出席してアイディアの交換を行うのが目的であり、例会は、ロータリー精神の生産の場であり、ここからロータリー精神に基いた親睦が誕生し、その親睦を通して奉仕の心を培う、これがロータリーである。これがロータリーは人造りである所似である。出席優良会員はそれを忠実にまもっただけのこと。

元来、例会出席は会員自身が決めることであり、ロータリーは、100%の出席を奨励しても強要はしないのが原則であり、あとは、会員の自覚を待つしかない。

例会出席の条件

1. 例会には必ず出席すると自覚すること。
2. 例会が有意義で楽しい例会になるようにし、会員全員でつくり上げる努力をする。

とくに2は、会員が今日は出席してよかった。楽しかったと思えるような例会づくり、その為には余りむづかしく考えないで、気楽に普段自分が考えていること、仕事の話、趣味の話、生活信条、といった何んでも気軽に話しが出来る雰囲気づくりが大切であると思う。

楽しい例会が出来れば、出席者も多くなると思うし、新入会員も期待出来るのではないかと思う。逆に例会が楽しくならないのであれば、私も寄る年並み、そろそろ退会を考えようと思っております。